

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の取組状況およびKPI結果の公表について

株式会社長野銀行は、当行のめざす銀行像である「必要とされ選ばれる銀行～長野県のマザーバンク～」を具体化するために、金融商品の販売、助言、商品開発、資産管理、運用等において2021年6月29日に定めた「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき具体的な取組を実践してまいりました。

2022年度の各取組方針に係る取組状況を成果指標(KPI)および金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともにご報告いたします。また、今回より「外貨建保険におけるKPI」についても公表いたします。

当行は、今後も本取組方針に基づき、お客さまのニーズに沿ったわかりやすい情報提供、共通価値の創造が可能な人材育成によるコンサルティングを実践し、その取組状況や成果を公表してまいります。

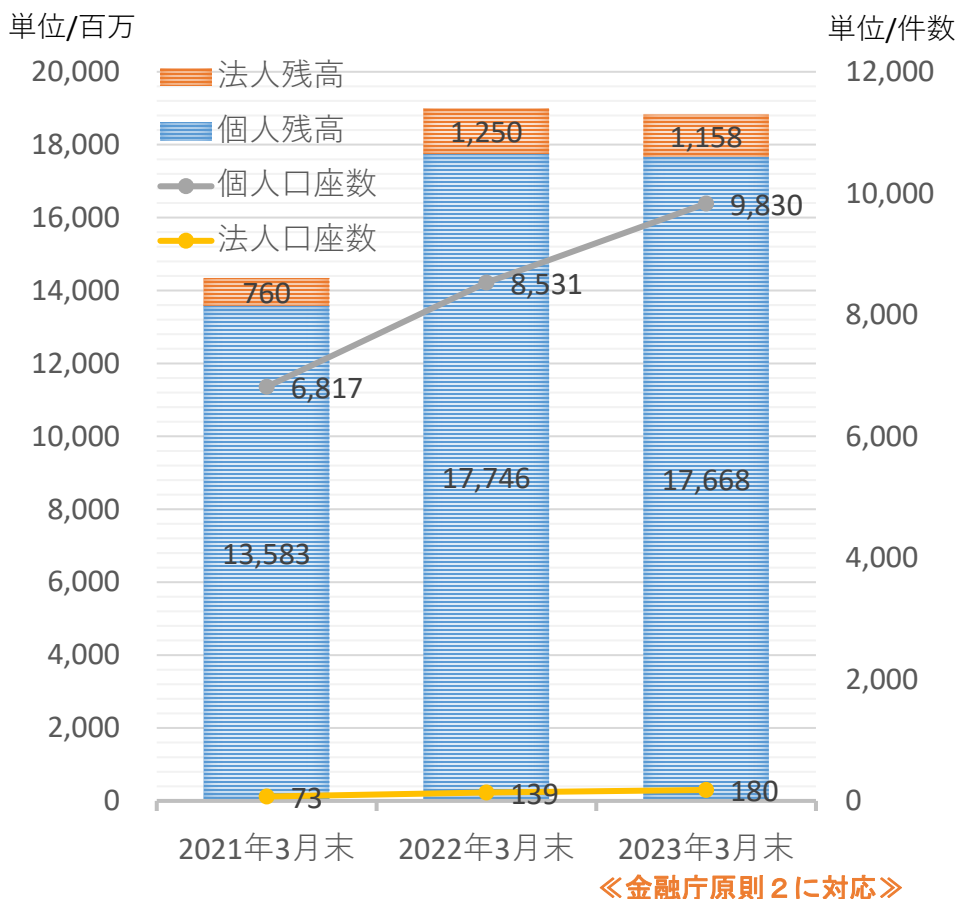
「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」		顧客本位の業務運営に関する原則（金融庁）
取組方針 1	お客さまの最善の利益の追求	原則 2
取組方針 2	利益相反の適切な管理	原則 3
取組方針 3	手数料の明確化	原則 4
取組方針 4	重要な情報の分かりやすい提供	原則 5
取組方針 5	お客さまにふさわしいサービスの提供	原則 6
取組方針 6	従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	原則 7

取組方針1 「お客さまの最善の利益の追求」の取組状況

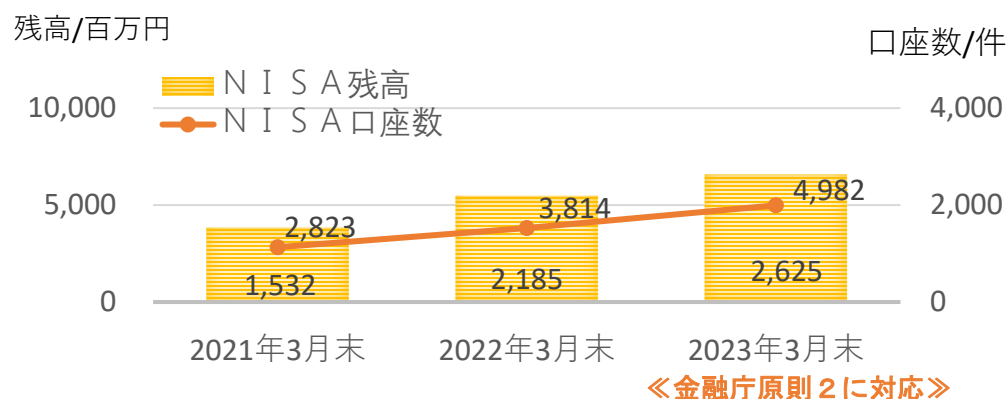
原則2 顧客の最善の利益の追求

お客さまの最善の利益の実現状況を確認するための指標として重視している、投資信託口座数やお預り残高については、お客さまの安定的な資産形成の実現に向け、「長期・積立・分散投資」のご提案等により、投資信託口座・残高、NISA契約、定期定額契約は着実に増加しております。

－ 投資信託口座・残高状況の推移



－ NISA契約の推移



－ 定期定額契約の推移



取組方針2 「利益相反の適切な管理」の取組状況

原則3 利益相反の適切な管理

お客さまに金融商品・サービスをご提供するにあたっては、当行の「利益相反管理方針」に則り、お客さまの利益が不当に損なわれることのないよう適切に対応し、お客さまに安心して永続的なお取引をいただけるよう努めております。

下記の、投資信託と窓販保険商品の販売額等上位5商品に見るとおり、当行は、特定の運用会社と資本関係等の特別な関係はございません。また、当行の営業職員に対する業績評価上、特定の商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるようなこともございません。

※「利益相反管理方針」は当行HPに掲載しております。

－ 投資信託の販売額上位5銘柄

順位	2020/4～2021/3		2021/4～2022/3		2022/4～2023/3	
	商品名	運用会社	商品名	運用会社	商品名	運用会社
1	ダイワJ-REITオープン	大和AM	ダイワJ-REITオープン	大和AM	ダイワJ-REITオープン	大和AM
2	ダイワUS-REITオープン	大和AM	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド(愛称:ゼロ・コンタクト)	日興AM	ダイワUS-REITオープン	大和AM
3	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJ国際投信	ダイワUS-REITオープン	大和AM	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJ国際投信
4	グローバル・ハイクオリティ成長株ファンド	AMOne	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2021-07	あおぞら投信	インデックスファンド TM NASDAQ100(アメリカ株式)	日興AM
5	ファイン・ブレンド	日興AM	(年3%目標払出)のむらップ・ファンド(普通型)	野村AM	One NYダウ・インデックス・ファンド	AMOne

《金融庁原則3に対応》

－ 窓販保険商品の保険料上位5商品

順位	2020/4～2021/3		2021/4～2022/3		2022/4～2023/3	
	商品名	保険会社	商品名	保険会社	商品名	保険会社
1	あしたの、よろこび2(外貨)	プライマリー生命	ロングドリームGOLD3(外貨)	日本生命	ロングドリームGOLD3(外貨)	日本生命
2	ロングドリームGOLD3(外貨)	日本生命	ふるはーとJロードプラス(円貨)	住友生命	しあわせ、ずっと3(外貨)	プライマリー生命
3	ふるはーとJロードグローバルII(外貨)	住友生命	ふるはーとJロードグローバルII(外貨)	住友生命	ふるはーとJロードグローバルII(外貨)	住友生命
4	やさしさ、つなぐ2(外貨)	プライマリー生命	やさしさ、つなぐ2(外貨)	プライマリー生命	やさしさ、つなぐ2(外貨)	プライマリー生命
5	ふるはーとJロードプラス(円貨)	住友生命	たのしみ未来(円貨)	住友生命	ふるはーとJロードプラス(円貨)	住友生命

《金融庁原則3に対応》

－ 手数料や運営管理費用の多寡にかかわらない商品提供

後掲の「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について、「投資信託の預り残高上位20名銘柄のコスト・リターン」に掲載したとおり、投資信託販売上位銘柄は低手数料のものが多く、また信託報酬も比較的低料率のものとなっており、手数料・運営管理費用の多寡にかかわらず、お客さまのニーズに合った適切な金融商品の提供に努めていることを示しております。

《金融庁原則3に対応》

取組方針4 「重要な情報の分かりやすい提供」の取組状況

原則5 重要な情報の分かりやすい提供

当行は、「情報提供資料」や「重要情報シート」等を活用し、お客さまにより分かりやすい情報の提供に努めております。

1 情報提供資料の活用

長野銀行では、各種ご案内ツールを活用し、適合性の原則に基づいて、お客さまの取引経験や金融知識等を考慮し、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供に努めております。

情報提供資料として、「投資信託のご案内」「マネープラン」を活用しております。

《金融庁原則5に対応》

－投資信託のご案内



－マネープラン



2 重要情報シートの活用

当行は、お客さまにお伝えすべき「重要な情報」とは、商品毎の収益や特性、損失等のリスク、手数料等および利益相反の可能性等と考えております。

こうした「重要な情報」をお客さまにご理解いただくために、「重要情報シート」の活用により、簡潔かつ分かりやすい情報提供に努めております。

「重要情報シート」の作成にあたっては、お客さまが同種あるいは異なる金融商品であっても、金融商品ごとの商品性やサービス・費用等の内容について比較しやすくなるよう配慮いたします。重要情報シートでは、質問例を表示しお客さまの誤解を招くことのないようご説明しております。

※現在当行では、投資信託ラインアップのうち20商品と外貨建一時払保険を対象にご用意しています。

－重要情報シート



《金融庁原則5に対応》

取組方針4 「重要な情報の分かりやすい提供」の取組状況

原則5 重要な情報の分かりやすい提供

3 当行におけるパッケージ商品の取扱い

当行は現在パッケージ商品の取扱いはございませんが、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかやパッケージ化しない場合との比較、お客さまにとってふさわしい商品かを検討のうえ、必要な情報を提供してまいります。

なお、今後パッケージ商品を取扱う際には、当行の使用する重要情報シート(個別商品編)は、当該商品についての「パッケージ化の有無:(ありの場合には)この金融商品は、複数の金融商品を組み合わせた商品です。個別の金融商品として購入することもできます(又はできません)」旨を記載してまいります。

《金融庁原則5に対応》

取組方針5 「お客さまにふさわしいサービスの提供」の取組状況

原則6 顧客にふさわしいサービスの提供

お客さまの多様な運用ニーズに応じて商品を選択していただけるよう、良質な商品ラインアップの充実を図っております。

1 投資信託商品ラインアップの充実

ー 投資信託商品の商品数と構成比

カテゴリ	2021/3		2022/3		2023/3	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
債券	13	25.5%	14	18.9%	14	18.9%
国内	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
海外	13	25.5%	14	18.9%	14	18.9%
株式	21	41.2%	31	41.9%	31	41.9%
国内	6	11.8%	8	10.8%	8	10.8%
海外	11	21.6%	16	21.6%	16	21.6%
国内外	4	7.8%	7	9.5%	7	9.5%
REIT	4	7.8%	6	8.1%	6	8.1%
国内	2	3.9%	2	2.7%	2	2.7%
海外	2	3.9%	4	5.4%	4	5.4%
バランス型	12	23.5%	20	27.0%	20	27.0%
国内外	12	23.5%	20	27.0%	20	27.0%
商品	1	2.0%	1	1.4%	1	1.4%
合計	51	100%	72	100%	72	100.0%
うち、ノーロード (販売手数料無料)型	7	13.7%	9	12.2%	9	12.2%

※ 投資信託種別の内訳は、主な投資先にて分類しております。《金融庁原則6に対応》
 ※ つみたてNISAの8商品を含みます。

2 保険商品ラインアップの充実

ー 生命保険等の商品数と構成比

払込方法	カテゴリ	2021/3		2022/3		2023/3	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
一時払い	定額個人年金保険	5	22.7%	7	25.9%	9	27.3%
	外貨建て	4	18.2%	5	18.5%	6	18.2%
	円建て	1	4.5%	2	7.4%	3	9.1%
	定額終身保険	6	27.3%	9	33.3%	10	30.3%
	外貨建て	3	13.6%	5	18.5%	6	18.2%
	円建て	3	13.6%	4	14.8%	4	12.1%
平準払い	定額個人年金保険	2	9.1%	2	7.4%	2	6.1%
	外貨建て	1	4.5%	1	3.7%	1	3.0%
	円建て	1	4.5%	1	3.7%	1	3.0%
	定額終身保険	2	9.1%	2	7.4%	3	9.1%
	外貨建て	-	-	-	-	-	-
	円建て	2	9.1%	2	7.4%	3	9.1%
	医療保険	4	18.2%	4	14.8%	4	12.1%
	がん保険	1	4.5%	1	3.7%	2	6.1%
	就業不能・認知症	2	9.1%	2	7.4%	2	6.1%
介護保険	-	-	-	-	1	3.0%	
合計		22	100%	27	100%	33	100%

《金融庁原則6に対応》

取組方針5 「お客さまにふさわしいサービスの提供」の取組状況

原則6 顧客にふさわしいサービスの提供

お客さまの取引目的・ニーズを把握し、ライフプランに基づいたサービスの提案をしております。また、ご契約後もお客さまに寄り添った適時適切なアフターフォローの充実に努めております。

3 ライフプランに基づいたサービス提案

お客さまのライフプランに応じた、お客さまの目標(ゴール)を把握し、各種ツールを使用して金融商品・サービスの提案に努めております。

－ タブレットツール

「ウェルスアドバイザーズ(モーニングスター)」の活用



4 アフターフォロー実施状況

金融商品ご案内後において、お客さまのご意向に基づき長期的な視点に配慮した適切なアフターフォローを実施しております。

2022年度の実施状況は下記のとおりです。

対象商品	基準
投資信託	◆ 高齢者(満75歳以上かつ投資金額1百万円以上の先) ◆ 直近基準価額下落の著しい特定ファンド保有者(運用実績▲20%以下)
特定保険	◆ 契約日より1年以上経過先 ◆ 高齢者(満70歳以上かつ契約日より1年以上経過先)

《金融庁原則6に対応》

《金融庁原則6に対応》

取組方針5 「お客さまにふさわしいサービスの提供」の取組状況

原則6 顧客にふさわしいサービスの提供

各種お客さま向けセミナーを開催し、お客さまにふさわしいサービスの提供に努めております。また、従業員向けに行内研修等を実施し、商品知識およびコンサルティングスキルの向上に努めております。

5 お客さま向けセミナー開催回数

ー各種セミナー開催回数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度
資産運用セミナー	※未実施	3回	17回
相続セミナー	※未実施	4回	31回

※新型コロナウイルス感染症防止のため未実施

ーセミナー取組状況

2022年度は、長期・分散・積立をテーマにした相談会や新NISA制度等の資産運用セミナーを実施し、情報の提供に努めました。



《金融庁原則6に対応》

6 金融商品販売における研修状況

2021年度 実施回数	2022年度 実施回数
47回	49回

《金融庁原則7に対応》

取組方針5 「お客さまにふさわしいサービスの提供」の取組状況

原則6 顧客にふさわしいサービスの提供

75歳以上のお客さまに対して商品のご案内を行う場合には、商品の特性やお客さまの属性を踏まえ、より慎重で丁寧なご説明をさせていただいております。

7 「75歳以上のお客さま」への対応について

金融商品・サービスのご案内にあたり、当行では75歳以上のお客さまに対し販売ルールを策定しております。

販売ルール

受付担当者は、通常以上の注意と丁寧な説明に努めます。

推定相続人(70歳未満)等の同席が必要となります。

お客さまとの面談は、役席者を含め必ず2名以上で対応いたします。

申込みにあたり熟慮期間(最低1日)を設けております。

商品説明の翌日以降に意思確認を行ったうえで、申込みとなります。

申込みの際は、推定相続人等の同意を書面により確認させていただきます。

申込みの翌日以降に役席者よりお客さまに連絡し、お取引内容(購入した商品、金額等)の連絡・確認を行います。

8 商品組成会社が販売対象として想定する顧客属性の取扱い

取扱商品に関する「商品組成会社が販売対象として想定する顧客属性」については、当行のリスク分類との整合性等を検証のうえ、必要と思われる場合に随時提供してまいります。当行の使用する重要情報シート(個別商品編)には、当該商品についての「商品組成に携わる事業者が想定する購入層」の欄を設け、記載しております。

《金融庁原則6に対応》

取組方針6 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み等」の取組状況

原則7 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

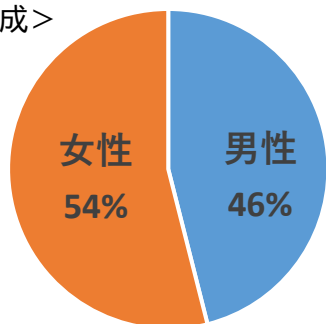
お客さまに対して満足度アンケートを実施し、担当者に対する適切な動機づけや業務を検証するための体制整備を行っています。今後もよりお客さまの満足度向上に向けた取組みを行ってまいります。

1 お客さま向け満足度アンケートの結果(Q1～Q5)

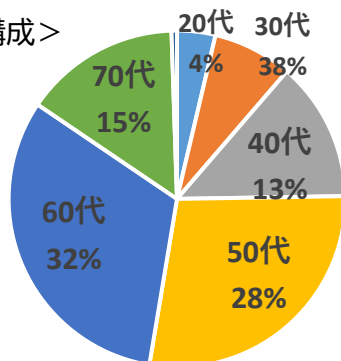
<回答者属性>

調査期間: 2022年6月6日～2022年10月31日
調査対象: 投信キャンペーン～資産の美～応募者
回答者数: 374名
調査方法: キャンペーンWEB応募フォーム

<性別構成>



<年代構成>



<アンケート結果>

Q1.顧客満足度

	回答者数	割合
5 満足	302	81%
4 ほぼ満足	53	14%
3 普通	17	5%
2 やや不満	1	0%
1 不満	1	0%
全体	374	100%

Q2.専門的な知識について

	回答者数	割合
5 満足	290	78%
4 ほぼ満足	61	16%
3 普通	18	5%
2 やや不満	2	1%
1 不満	1	0%
全体	372	100%

Q3.お客さまの要望に対する理解度について

	回答者数	割合
5 満足	274	73%
4 ほぼ満足	78	21%
3 普通	17	5%
2 やや不満	3	1%
1 不満	1	0%
全体	373	100%

Q4.お客さまのニーズにあった提案内容となっていましたか

	回答者数	割合
5 満足	279	75%
4 ほぼ満足	72	19%
3 普通	19	5%
2 やや不満	1	0%
1 不満	2	1%
全体	373	100%

Q5.信頼感について

	回答者数	割合
5 満足	261	70%
4 ほぼ満足	79	21%
3 普通	29	8%
2 やや不満	3	1%
1 不満	1	0%
全体	373	100%

取組方針6 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み等」の取組状況

原則7 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

1 お客さま向け満足度アンケートの結果(Q6～Q9)

<アンケート結果>

Q6.お客さまとの意思疎通について

	回答者数	割合
5 満足	290	78%
4 ほぼ満足	61	16%
3 普通	18	5%
2 やや不満	2	1%
1 不満	1	0%
全体	372	100%

Q7.担当者からの商品内容等に関する説明について

	回答者数	割合
5 満足	274	73%
4 ほぼ満足	78	21%
3 普通	17	5%
2 やや不満	3	1%
1 不満	1	0%
全体	373	100%

Q8.担当者からの商品に関する手数料・費用等の説明について

	回答者数	割合
5 満足	279	75%
4 ほぼ満足	72	19%
3 普通	19	5%
2 やや不満	1	0%
1 不満	2	1%
全体	373	100%

Q9.ご家族や友人から相談を受けた場合、担当者を薦めたいと思いますか

	回答者数	割合
5 満足	261	70%
4 ほぼ満足	79	21%
3 普通	29	8%
2 やや不満	3	1%
1 不満	1	0%
全体	373	100%

2 FP資格保有者数

FP資格の取得奨励を通じて、プロフェッショナルとしての専門性を高めており、取得率は増加しております。

—FP資格保有者数と取得率の推移

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
FP資格保有者数	549名 (職員数654名)	545名 (職員数633名)	546名 (職員数644名)
取得率	83.9%	86.1%	84.8%

《金融庁原則7に対応》

《金融庁原則7に対応》

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

2018年6月、金融庁は「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI(以下、「共通KPI」という。)」を発表し、投資信託の販売会社は、①運用損益別顧客比率、②預り残高上位20銘柄のコスト・リターン、③預り残高上位20銘柄のリスク・リターンの3つの指標を公表するよう求めました。共通KPIは、お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶうえで比較することができる統一的な指標であり、2023年3月末における当行の共通KPIを以下のとおり公表いたします。

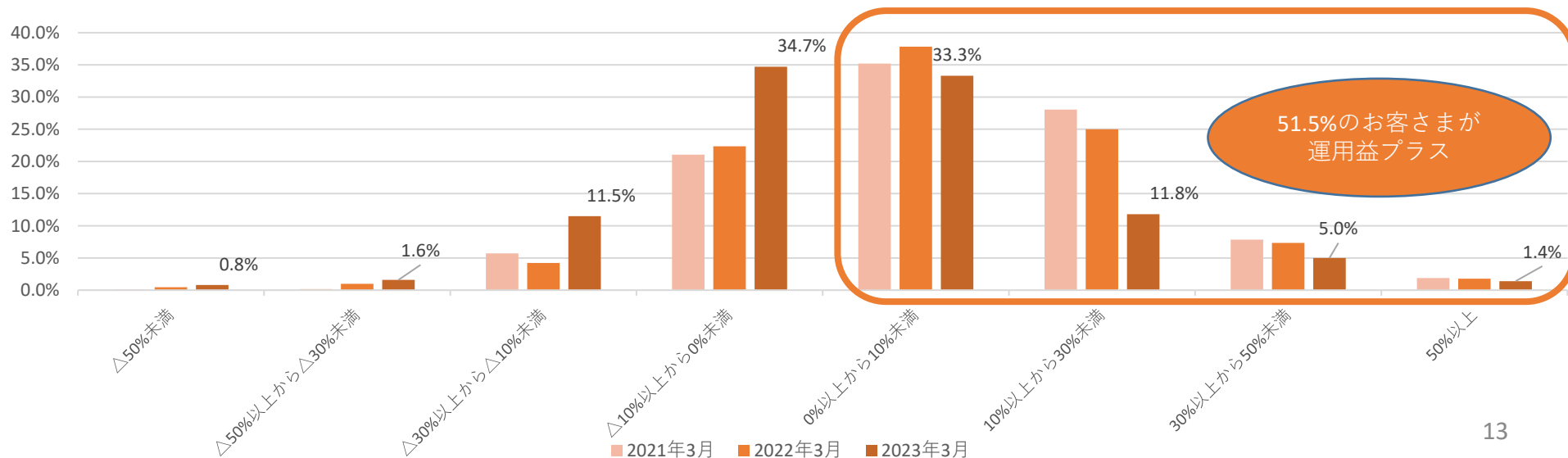
なお、KPIは、業績を評価するための重要な指標です。この指標は、どのくらいの割合のお客さまにご満足いただけているか、また上位20銘柄が(平均で見て)お客さまの満足を得られる結果となっているかを示しており、プラスになっているお客さまが多いことは、お客さま満足度につながるものと考えられます。

投資信託の運用損益別顧客比率

—2023年3月31日時点

この図は、投資信託を保有しているお客さまが、基準日(毎年3月末)現在、保有する投資信託について、購入した以降の累積運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

2023年3月末において、運用損益がプラスとなったお客さまの比率は全体の51.5%となりました。投資信託をご購入いただき、保有されているお客さまには、引続き定期的にアフターフォローを実施し、運用損益の改善に努めてまいります。

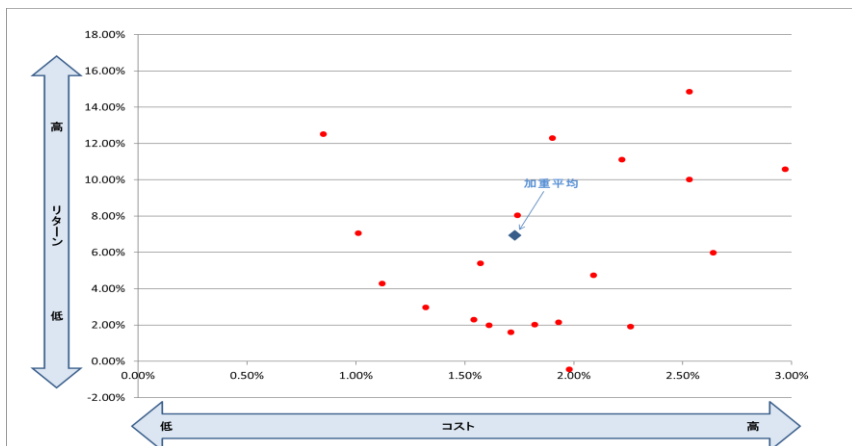


「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン/コスト・リターン

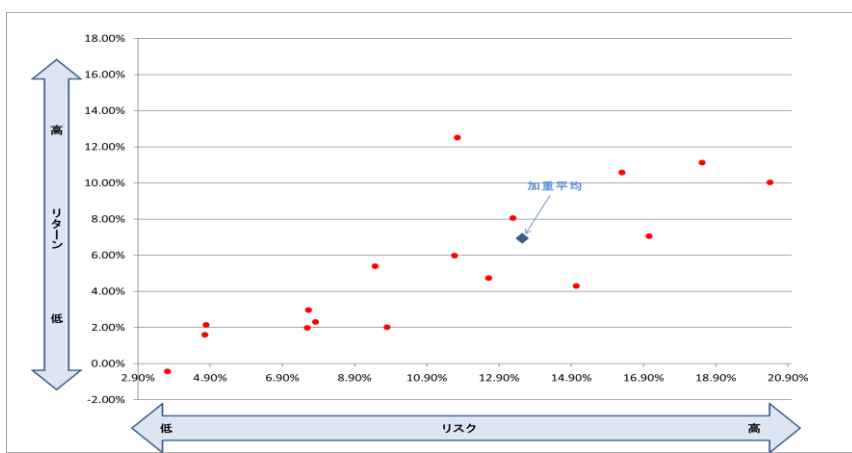
—2023年3月31日時点

残高上位20銘柄の平均リスクは14.75%、平均コストは1.75%、平均リターンは6.48%



順位	前年順位	ファンド名	リスク	コスト	リターン
①	①	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	15.03%	1.12%	4.30%
②	②	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型)	18.52%	2.22%	11.13%
③	③	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	16.30%	2.97%	10.59%
④	⑤	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	22.52%	1.90%	12.30%
⑤	④	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	4.75%	1.71%	1.60%
⑥	⑧	のむラップ・ファンド (普通型)	9.46%	1.57%	5.40%
⑦	⑫	ストックインデックスファンド225	17.05%	1.01%	7.07%
⑧	-	サイバーセキュリティ株式オープン	24.72%	2.53%	14.87%
⑨	⑦	ハイグレード・オシア・ボンド・オープン	9.79%	1.82%	2.03%
⑩	⑳	ファイン・ブレンド (資産成長型)	4.78%	1.93%	2.16%
⑪	⑩	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	21.39%	2.26%	1.92%
⑫	⑥	高金利先進国債券オープン (毎月分配型)	7.58%	1.61%	1.99%
⑬	⑨	グローバル3資産ファンド	12.61%	2.09%	4.75%
⑭	⑪	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド	20.40%	2.53%	10.03%
⑮	⑭	日本3資産ファンド (安定コース)	7.62%	1.32%	2.97%
⑯	⑬	のむラップ・ファンド (積極型)	13.28%	1.74%	8.06%
⑰	⑮	DIAM高格付インカムオープン (毎月決算コース)	7.81%	1.54%	2.31%
⑱	⑰	GW7つの卵	11.67%	2.64%	5.98%
⑲	-	ゴールド・ファンド (為替ヘッジなし)	11.74%	0.85%	12.52%
⑳	⑯	投資のソムリエ	3.72%	1.98%	-0.44%
加重平均値			14.75%	1.75%	6.48%

残高加重平均値	リスク	リターン
	14.75%	6.48%



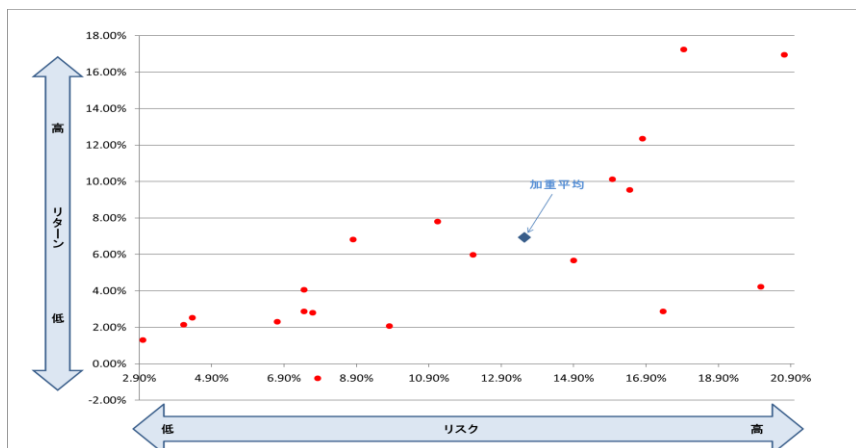
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.75%	6.48%

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

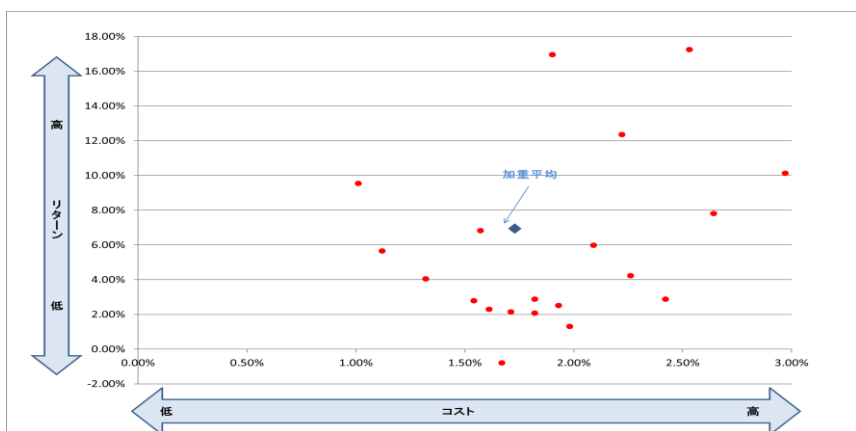
投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン/コスト・リターン

—2022年3月31日時点

残高上位20銘柄の平均リスクは13.54%、平均コストは1.73%、平均リターンは6.93%



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.54%	6.93%



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.73%	6.93%

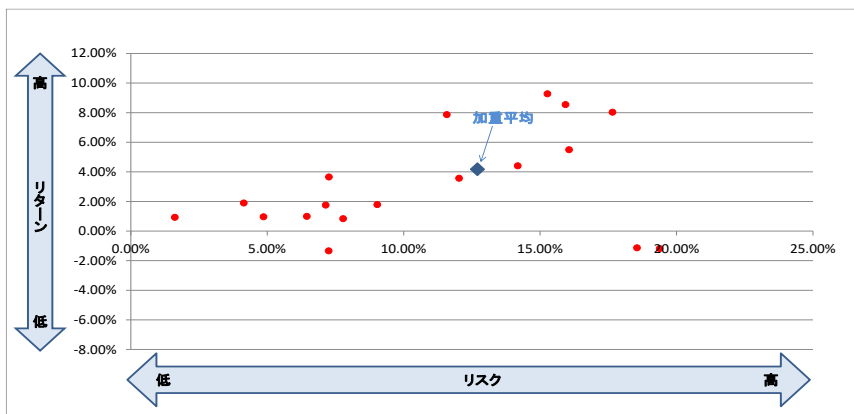
順位	前年順位	ファンド名	リスク	コスト	リターン
①	①	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	14.90%	1.12%	5.67%
②	②	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型)	16.80%	2.22%	12.36%
③	⑨	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	15.96%	2.97%	10.13%
④	③	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	4.12%	1.71%	2.16%
⑤	⑫	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	20.71%	1.90%	16.96%
⑥	④	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	20.07%	2.26%	4.24%
⑦	⑤	ハグレド・セアア・ボンド・オープン	9.80%	1.82%	2.08%
⑧	-	のむらっぴ・ファンド (普通型)	8.80%	1.57%	6.83%
⑨	⑥	高金利先進国債券オープン (毎月分配型)	6.70%	1.61%	2.31%
⑩	⑦	ファイン・ブレンド (資産成長型)	4.36%	1.93%	2.53%
⑪	⑧	グローバル3資産ファンド	12.11%	2.09%	5.99%
⑫	⑮	ストックインデックスファンド225	16.44%	1.01%	9.55%
⑬	⑩	日本3資産ファンド (安定コース)	7.44%	1.32%	4.06%
⑭	-	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド	17.94%	2.53%	17.26%
⑮	⑬	DIAM高格付インカムオープン (毎月決算コース)	7.69%	1.54%	2.80%
⑯	-	投資のソムリエ	2.99%	1.98%	1.32%
⑰	⑰	GW7つの卵	11.14%	2.64%	7.82%
⑱	⑭	ダイワ高格付カナダドル債オープン (毎月分配型)	7.45%	1.82%	2.87%
⑲	⑪	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	17.37%	2.42%	2.89%
⑳	⑯	トレンド・アロケーション・オープン	7.83%	1.67%	-0.80%
加重平均値			13.54%	1.73%	6.93%

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

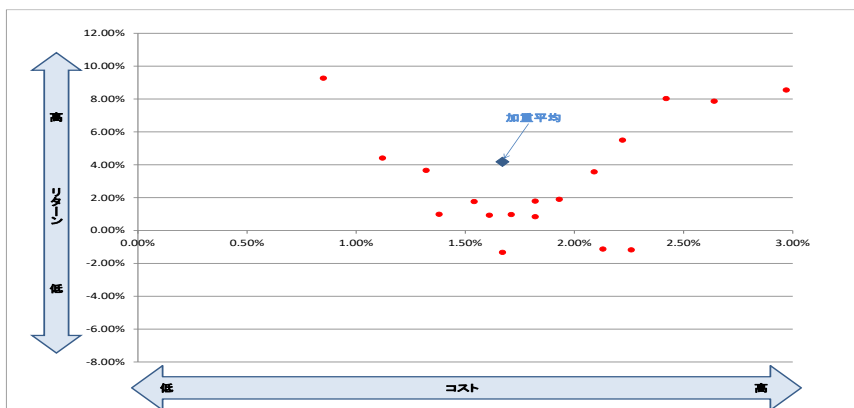
投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン/コスト・リターン

—2021年3月31日時点

残高上位20銘柄の平均リスクは12.70%、平均コストは1.67%、平均リターンは4.18%



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.70%	4.18%



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.67%	4.18%

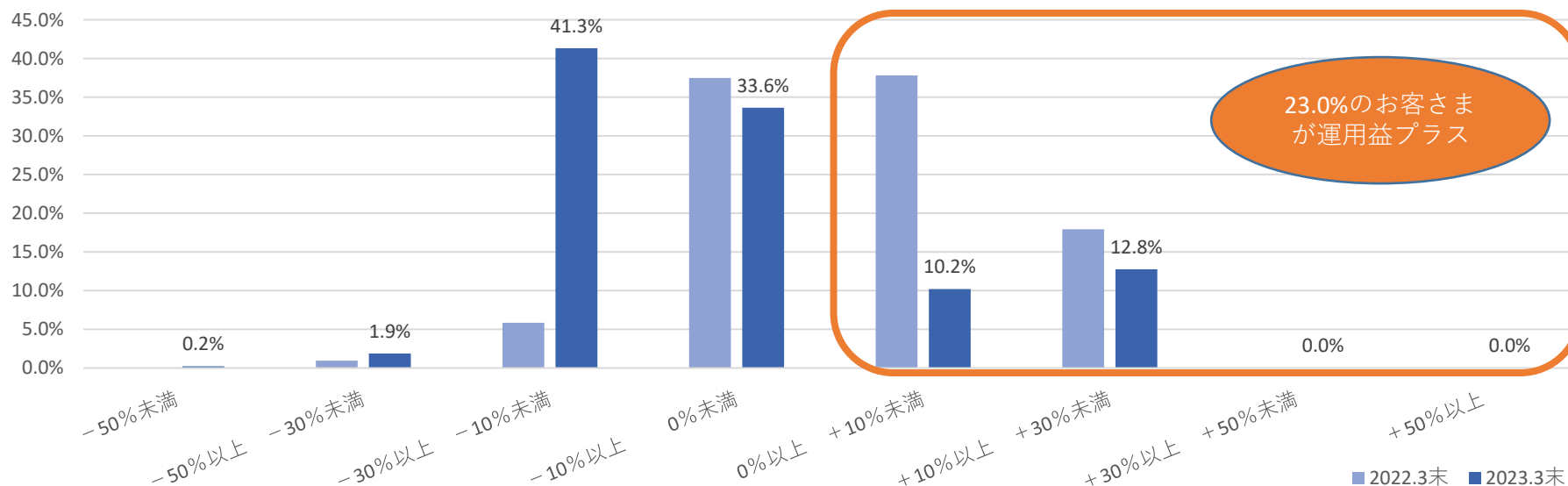
順位	前年順位	ファンド名	リスク	コスト	リターン
①	①	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	14.18%	1.12%	4.41%
②	②	ダイワ・US-REITオープン (毎月決算型)	16.06%	2.22%	5.50%
③	④	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	4.86%	1.71%	0.97%
④	⑥	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	19.38%	2.26%	-1.18%
⑤	⑦	ハイグレード・オメガ・ボンド・オープン (毎月分配型) (杏の実)	9.03%	1.82%	1.79%
⑥	⑤	高金利先進国債券オープン (毎月分配型) (月桂樹)	6.20%	1.61%	0.93%
⑦	⑨	ファイン・ブレンド (資産成長型)	4.14%	1.93%	1.90%
⑧	⑧	グローバル3資産ファンド (ワンプレートランチ)	12.03%	2.09%	3.57%
⑨	-	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド (健次)	15.93%	2.97%	8.55%
⑩	⑩	日本3資産ファンド (安定コース) (円のめぐみ)	7.26%	1.32%	3.66%
⑪	⑫	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	17.65%	2.42%	8.03%
⑫	-	ロボット・テクノロジー関連株ファンド (ロボテック)	19.38%	1.90%	20.22%
⑬	⑬	DIAM高格付インカムオープン (毎月決算コース) (ハッピークローバー)	7.14%	1.54%	1.76%
⑭	⑭	ダイワ高格付カナダドル債オープン (毎月決算型)	7.78%	1.82%	0.84%
⑮	⑮	ストックインデックスファンド225	16.58%	1.01%	13.31%
⑯	⑯	トレンド・アロケーション・オープン	7.25%	1.67%	-1.33%
⑰	⑰	GW7つの卵	11.58%	2.64%	7.87%
⑱	⑱	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	6.45%	1.38%	0.99%
⑲	⑲	ブラジル・ボンド・オープン (毎月決算型)	18.55%	2.13%	-1.13%
⑳	-	JPX日経400ノーロードオープン	15.27%	0.85%	9.27%
加重平均値			12.70%	1.67%	4.18%

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」について

2022年1月に金融庁より公表された「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」を成果指標として、公表致します。

外貨建保険の運用評価別顧客比率

2023年3月末時点では運用損益プラスのお客さまは23.0%となりました。



外貨建保険のコスト・リターン

当行では、2023年3月末現在、設定後5年以上の外貨建保険預り残高がないため未公表とさせていただきます。
※外貨建保険については、2018年5月より取扱いを開始しております。